

総合型選抜・学校推薦型選抜 ②面接

②面接

～アド・ミッション・ポリシーに沿い『研究意欲』『個性』『将来性』をアピール～
～『自分』を「他の受験生」と差別化できるアピールを～

■基本的な注意点

- ①清潔で乱れのない『身なり』…第一印象を左右します。先生などにチェックしてもらうこと。
- ②正しく丁寧な『言葉遣い』…正しい敬語は練習が必要。また学生特有の言葉遣いは避ける。
- ③簡潔で『端的な返答』…ダラダラととりとめない話は、分かりづらい。ミスに繋がることもある。
- ④マニュアルの暗記ではない『自分の言葉』…事前準備した想定返答の暗記はNG。
- ⑤理論破綻のない『一貫した意見』…特に『志望理由書』との整合性は保って返答しましょう。

■個人面接(一般質問)の場合

最も標準的な面接形式で、受験生1人に対し面接者1～4人による対話型面接。

- ①1人で面接者と向き合う形式で、緊張しがち。
- ②質問をよく聞き、落ち着いてゆっくり回答する。
- ③話すときは質問者の顔を見る。
- ④質問者以外にも聞こえるように大きな声でゆっくり話す。

■集団面接(討論)の場合

面接者2～4人の前で、5～10人で与えられたテーマについてグループ討論をし、コミュニケーション能力を見る面接方式です。

- ①異なる意見を受け止め、共通点を見だし、議論の方向性を定めて行けるかを判定。
- ②自分の立場を明確にして討論に参加すること。「どちらとも言えない」は討論にならない。
- ③この討論は『勝ち負け』ではない。論破にこだわらないこと。

●活動実績報告書に注意！！●

総合型選抜や学校推薦型選抜では活動報告書の提出が増えている。

志望理由書の中に組み込まれたものもありますし、単独で活動報告書となっている大学もあります。

- ①3年間でどのような学習をしてきたか？(総合的な探究の時間の学習内容・課題研究は何をやったか？)
- ②部活動への取り組み状況と実績は？
- ③どのような資格・検定を取得したか？
- ④ボランティア活動の有無・学校外での各種の催しへの参加状況等は？

受験の選択肢を広げる意味でも、次の4つを是非実施してもらいたいと思います。

<その1> 英検準2級合格はほぼ必須(学校推薦で受験予定の3年生はS-CBT受験で出願までに間に合う可能性があります)。更に漢字検定2級程度の合格も欲しい

<その2> ボランティア活動に参加する(活動証明書の発行を要望してみる)

<その3> 外部の催し(各大学主催または法人主催のもの)に参加する(参加証明書の発行を要望してみる)

<その4> 総合的な探究の時間における取り組みをしっかりと記録しておく